

葉山町子ども・子育て支援事業計画の基本目標・重点施策（案）

以下の5つの基本目標・重点施策（案）は、平成25年度に実施したアンケート調査結果の傾向や特徴をふまえ、事務局で考案したものです。子ども・子育て会議で議論の上、より具体化した内容を町の子ども・子育て支援事業計画に反映します。

1 教育・保育事業の充実と多様化について

就労世帯の転入や就労希望者の増加により、近年、保育ニーズが高まっています。その一方で教育に対する根強い支持もあり、子育て世帯のニーズが従来よりも多様になっています。各世帯の事情に応じて教育・保育の機会が適切に得られるように、教育・保育事業の充実が必要です。

（重点施策）

教育・保育事業（認定こども園、幼稚園、保育所など）

2 一時預かり、病児保育の充実について

理由を問わず利用できる一時預かりのニーズが高まっています。また、就労世帯の不安感を和らげるため、病児保育の実施が求められています。定期的な保育事業とは別に、各種の保育サービスの充実が必要です。

（重点施策）

一時預かり事業、病児・病後児保育事業など

3 子育て交流の場の提供・充実について

育児相談やアドバイスなどの精神的サポートを含め、子育て交流の場の提供や充実が求められています。子育て世帯が孤立しないように、気軽に相談や情報交換ができる子育て交流の場を増やしていくことが必要です。

（重点施策）

地域子育て支援拠点事業など

4 小学校就学後の放課後の過ごし方について

保育ニーズの高まりにより、今後、小学校就学後の放課後の過ごし方が課題となることが予想されます。小学生が放課後に安全で充実した時間を過ごせる環境を整えることが必要です。

（重点施策）

放課後児童クラブ、放課後子ども教室など

5 子どもの発達面での支援について

子育てをする上で不安に感じていること、困っていることとして、未就学のお子さんをもつ保護者の約4割が、子どものこころの育ちの問題をあげています。特別な支援を要する家庭に対しても、様々な子育て支援策を利用できるような環境を整えることが必要です。

(重点施策)

障害のある子の保育、学童クラブの受入れ、発達支援システム、たんぽぽ教室など

6 その他

葉山町の特徴と思われる「きょうだいの多さ」、「住居の形態(持ち家率の高さ)」をどのように考えるか。

子ども・子育て支援新制度と直接連動はしないが、「子どもの遊び場(公園など)」や「交通の安全」などの問題も保護者の関心は高い。

「経済的な問題(医療費、教育費・保育料など)」も困りごと、不安なこととして感じている保護者が多い。

葉山町子ども・子育て支援新制度に関するアンケート調査報告書 (ダイジェスト版)

調査概要

- 1 目的
子ども・子育て支援事業計画の策定に必要な基礎資料の整備を行うため。
- 2 調査対象者
町内にお住まいの就学前のお子さん全員（平成 25 年 10 月 1 日時点）、
回答は保護者。
- 3 調査方法
調査票を郵送配布し、郵送で回収。
ハガキによる督促を 1 回実施。
- 4 調査期間
発送 平成 25 年 11 月 7 日（木）
回収期限 平成 25 年 11 月 30 日（土）
- 5 調査内容
国が示す標準的な調査票を準用するほか、一部町独自の質問を追加。
- 6 回収状況

配布数	回収数	有効票	無効票	有効回収率
1,820 件	1,151 件	1,136 件	15 件	62.4%

- 7 注意点
調査の設問には、子どもを特定せずに保護者の考え方等をたずねたものがある。この設問については、1 人の保護者が子どもの人数分の調査票を回答しているため、集計結果について、ある程度幅をもってみる必要がある。

調査結果（特徴的な項目を抜粋）

- 1 子どもと家族の状況について
 - (1) きょうだいの人数
・平均 1.91 人（1 人 30.5%、2 人 47.6%、3 人 16.2%）

- (2) きょうだいが多くて困っていること
 トップ3のカテゴリー（自由記入 448 件）
- | | |
|--------------|-------|
| 経済的問題 | 145 件 |
| 子どもの日常生活上の問題 | 134 件 |
| 親の身体的・精神的な負担 | 72 件 |
- (3) 住居の形態
- | | |
|--------------|-------|
| ・持ち家（分譲） | 75.7% |
| ・借家・アパート（賃貸） | 21.0% |

2 子どもの育ちをめぐる環境について

- (1) 子育てについての相談先の有無
- | | |
|--------|-------|
| ・いる、ある | 95.2% |
|--------|-------|
- (2) (1)の具体的な相談先（複数選択）
- | | |
|----------|-------|
| ・友人や知人 | 83.9% |
| ・祖父母等の親族 | 80.0% |
- (3) 子育てする上で周囲からどのようなサポートがあればよいか
 トップ5のカテゴリー（自由記入 547 件）
- | | |
|--------------------------|-------|
| 一時預かりの充実 | 161 件 |
| 育児相談、アドバイスなど精神的サポート | 98 件 |
| 子育て交流の場の提供・充実 | 33 件 |
| 地域や行政からの親や子どもに対する見守り、声掛け | 33 件 |
| 病児・病後児保育の充実 | 24 件 |
- (4) 子育てする上で不安に感じている、困っていること（複数選択）
 トップ3
- | | |
|-------------------|-------|
| 保育料・教育費が高い | 44.9% |
| 子どもの心の育ち | 41.4% |
| 気軽に託児を利用できる場所が少ない | 32.4% |
- (5) 子どもの遊びの環境について困っていること（複数選択）
- | | |
|-------------------------|-------|
| ・子どもが屋外で遊べる場所（公園など）が少ない | 60.8% |
|-------------------------|-------|
- (6) 子育ての担い手をしてみたい気持ちの有無
- | | |
|----------|-------|
| ・あり | 23.1% |
| ・なし | 22.0% |
| ・まだわからない | 54.0% |
- (7) (6)でありの将来の子育ての担い手としての関り方（複数選択）
- | | |
|-----------------------|-------|
| ・ファミリー・サポート・センターの支援会員 | 66.4% |
|-----------------------|-------|

3 保護者の就労状況について

(1) 父親の職業

- ・フルタイム就労（休業中含む） 89.9%

(2) 母親の職業

- ・フルタイム就労（休業中含む） 18.3%
- ・パート・アルバイト等 19.7%
- ・以前は就労していたが、現在は就労していない 58.2%

(3) 母親の就労状況（パート・アルバイトの場合）

- ・1週あたりの平均就労時間 18時間37分
- ・1月あたりの平均就労時間 約74時間

(4) 母親の就労希望状況（現在就労していない場合）

- ・就労したい（すぐ又は将来） 66%
- ・母親の就労希望日数（週） 平均3.50日
- ・母親の就労希望時間（日） 平均5時間06分
- ・1月あたりの就労希望時間 約70時間

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用形態（現状）（複数選択）

- ・幼稚園 61.1%
- ・認可保育所 24.0%

(2) 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所（現状）

- ・葉山町 81.8%
- ・他市町村 15.8%

(3) 他市町村を利用している理由（現状）（複数選択）

- ・教育、保育の質がよいため 50.5%

(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向（希望）（複数選択）

- ・幼稚園 67.6%
- ・幼稚園の預かり保育 37.1%
- ・認可保育所 34.1%
- ・認定こども園 22.4%

(5) 平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所（希望）

- ・葉山町 88.9%
- ・他市町村 7.2%

(6) 他市町村を利用したい理由（希望）（複数選択）

- ・教育、保育の質がよいため 46.3%
- ・通勤に便利のため 34.1%

5 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数選択）

- ・子育て支援センターぽけっと 33.8%
- ・児童館・青少年会館のひろば 37.1%
- ・利用していない 48.2%

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用回数

- ・平均 月間で 3.65 回

(3) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

- ・利用していないが、今後利用したい 18.8%
- ・すでに利用しているが、利用日数を増やしたい 24.3%
- ・新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない 50.1%

(4) 地域子育て支援拠点事業を利用したい回数

- ・平均 月間で 4.81 回

6 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

(1) 土日・祝日の教育・保育事業の利用希望（複数選択）

土曜日

- ・利用する必要はない 64.4%
- ・月に 1 ~ 2 回は利用したい 25.8%

日曜祝日

- ・利用する必要はない 77.4%
- ・月に 1 ~ 2 回は利用したい 17.3%

(2) 土日・祝日の教育・保育事業をたまに利用したい理由（複数選択）

- ・月に数回仕事が入るため 52.4%
- ・平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 37.4%
- ・息抜きのため 35.0%

(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（複数選択）

- ・利用する必要はない 31.0%
- ・休みの期間中、週に数日利用したい 56.7%

(4) 長期休暇中の教育・保育事業をたまに利用したい理由（複数選択）

- ・週に数回仕事が入るため 32.9%
- ・買い物等の用事をまとめて済ませるため 53.8%
- ・息抜きのため 51.7%

7 子どもが病気の際の対応について

(1) 病児・病後児保育の利用意向

- ・できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 47.5%
- ・利用したいとは思わない 52.5%

(2) 病児・病後児保育の望ましい事業形態（複数選択）

- ・幼稚園・保育所等に併設 72.4%
- ・小児科に併設 71.5%
- ・ファミリー・サポート・センターで対応 26.8%

(3) 病児・病後児保育を利用したくない理由（複数選択）

トップ2

- 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 66.9%
- 親が仕事を休んで対応する 55.1%

8 小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上の場合）

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方（希望）

低学年トップ3

- 自宅 65.2%
- 習い事 59.7%
- 放課後児童クラブ（学童保育） 36.8%

高学年トップ3

- 習い事 76.6%
- 自宅 64.7%
- 放課後児童クラブ（学童保育） 29.4%

(2) 放課後児童クラブを利用したい場所（希望）

- ・児童館・青少年会館 40.2%
- ・小学校 48.8%

9 育児休業など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業制度の利用経験の有無

母親

- ・働いていなかった 61.5%
- ・取得した（取得中） 20.2%
- ・取得していない 15.9%

父親

- ・取得した（取得中） 3.7%
- ・取得していない 86.5%

(2) 育児休業を取得していない理由（複数選択）

母親トップ5

子育てや家事に専念するため退職した	37.6%
その他	27.1%
仕事が忙しかった	15.5%
職場に育児休業の制度がなかった	13.8%
仕事に戻るのが難しそうだった	13.3%

父親トップ5

仕事が忙しかった	46.6%
配偶者が無職など制度を利用する必要がなかった	37.6%
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	30.3%
収入減となり、経済的に苦しくなる	26.6%
職場に育児休業の制度がなかった	13.2%

(3) 母親の育児休業復帰のタイミング（育児休業取得した場合）

・年度初めの入所に合わせたタイミングだった	61.1%
・それ以外だった	37.6%

(4) 母親の育児休業の取得期間（育児休業取得した場合）

・0～5ヶ月未満	10.7%
・5～10ヶ月未満	24.8%
・10～15ヶ月未満	32.2%
・15～20ヶ月未満	21.5%
平均	12.34ヶ月

(5) 母親が希望より早く職場復帰した理由（複数選択）

トップ3

希望する保育所に入るため	59.3%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	37.4%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	30.8%

10 自由意見

トップ7のカテゴリー（自由記入1,330件）

子どもの遊び場や居場所について（公園・広場の増設など）	317件
地域の子育て支援事業について（ひろば事業の充実など）	214件
定期的な教育・保育事業について（保育所入所など）	191件
経済的問題について（手当、医療費、教育費・保育料など）	104件
交通インフラについて（安全な歩道の整備など）	99件
小学校就学後の放課後の過ごし方について（学童保育など）	88件
一時預かりの利用について（一時預かりの充実など）	77件